

①地域医療の推進について（地域医療推進課）

1 入院患者見通し

将来人口は減少しても、入院患者は増加。
入院病床の確保が急務。

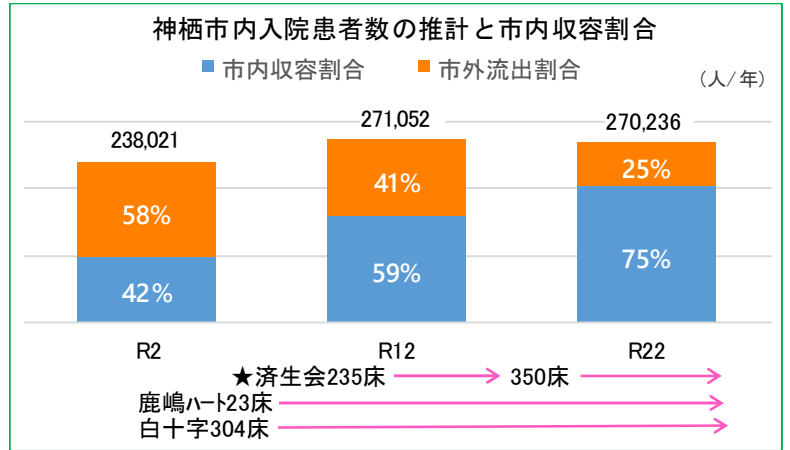
2 医療人材確保対策

【取組内容】

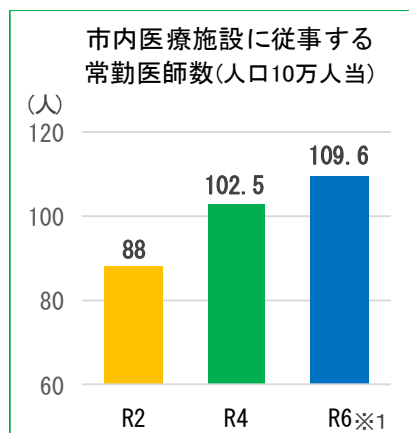
- ①医科大学との連携
 - 教育研修環境整備・活動支援
 - 就業促進・雇用促進
 - 医師・看護師修学資金貸与と支援
 - 情報発信
- ③看護師・医療技術者支援
- ④看護職合同進学・就職相談会の開催



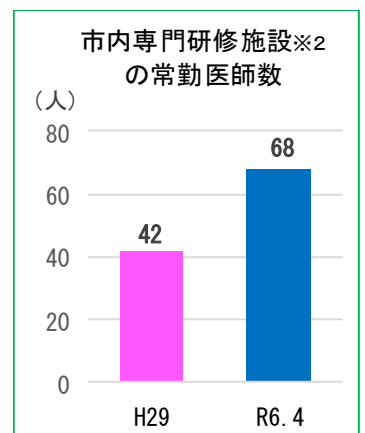
産業医トレーニングセンター
R6新規就業医師



★ R12、R22：神栖済生会病院の235床、350床が稼働しているものとして試算



※1 R6は市独自推計



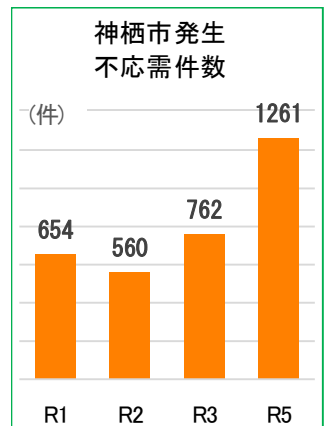
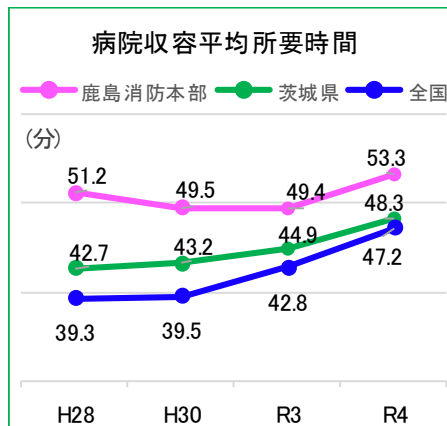
※2 白十字総合病院、神栖済生会病院、鹿嶋ハートクリニック

3 救急医療対策

コロナ禍で搬送時間の増、不応需の拡大
夜間の受入・労働災害の受入強化を目指す

【取組内容】

- 救急ワーキングチームによる課題改善策の継続実施・強化
- 市内小児科の救急体制の見直し



4 体制整備

白十字総合病院の回復期・慢性期病棟建替

R6年12月完成予定
304床フルオープン・救急受入強化



鹿嶋ハートクリニックの病院化

R6年11月完成予定
特例病床4床／23床の病院化
緊急手術・循環器救急の拠点機能強化



神栖済生会病院新病院整備

小児科、整形外科、消化器がん診療等の急性期医療・救急医療の拠点病院

- ・ H30年7月 基本合意書に関する協定書の締結
- ・ H31年4月 再編統合
- ・ R元年7月 済生会土合クリニック開院
- ・ R6年現在 実施設計見合わせ中

新病院整備

ファーストステップ 235床程度
セカンドステップ 350床



神栖済生会病院への年平均支援額

H20~H29	159 百万円/年	10年総額 1,591 百万円
H30~R5	320 百万円/年	6年総額 1,917 百万円
支援額合計		3,508 百万円

5 全員参加

産業医学基礎研修会

県医師会、市内企業の協力により実施
R2年以降 37都道府県 延べ3,143人参加

熱傷・薬傷症例検討会

労働災害に備え、企業スタッフと医療関係者が一緒に受講



医療教育

教師の指導方針と医療従事者の知見を生かす
「命の尊さを知る」「弱者を思いやる心の育成」
「医療への関心を高める」

企業・医療機関・行政連絡調整会議

医療体制の整備は産業都市の発展に不可欠



地方創生医師団と共催シンポジウム開催 令和6年10月13日~14日

- ・ 市民・企業・医療機関・行政等オール参加
- ・ 全国の医学生や若手医師、指導医等の参集

場所：かみす防災アリーナ



6 「第5回上手な医療のかかり方アワード」厚生労働省医政局長賞を受賞

神栖市の取組みが上手な医療のかかり方につながる優れた啓発活動・取組として評価され表彰されました。

【取組名】

みんなが創る！みんなを守る！
かみすの医療プロジェクト

【取組概要】

医療を受ける側と提供する側が
双方向のやりとりを通じて、とも
に考え、全員参加のもとに行動
するプロジェクト。



②こども家庭センターの設置について (こども家庭課・こども政策課)

こども家庭センター（保健福祉会館別館2階 こども家庭課内）

概要

令和6年4月1日から、市内全ての子どもや妊産婦、子育て家庭を対象に、一体的支援を行うこども家庭センターが稼働しました。

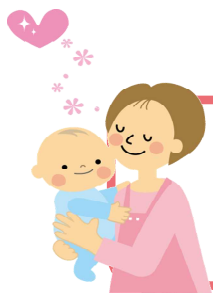
母子保健（一部）

子育て世代包括支援センター
妊産婦や乳幼児の保護者を支援

児童福祉

子ども家庭総合支援拠点
虐待・貧困など
問題を抱えた児童や妊婦を支援

一体化



こども家庭センター

産前産後の体や心のこと、お子さんのこと、育児のこと、家庭の心配事、児童虐待のことなどの相談に対応します。

こども家庭センターでできること

- 妊娠届の受付
- 母子手帳の交付
- 妊娠・出産・子育てに関する相談・情報提供
- 家庭児童相談
- 子育てカウンセラー相談
- 児童虐待対応
- 子育て短期支援事業など

保健師・子育てコンシェルジュ・社会福祉士などの専門職がお話を伺います。
お気軽にご相談ください。

日 時：月～金曜日
※祝日・年末年始を除く
午前8時30分～午後5時15分

子育て支援事業

核家族化、小家族化が進んでいることから、子育て家庭が孤立しないよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ります。

◆ 子育て応援ギフトカタログ（こども家庭課）

妊娠32週以降に保健指導を受けた妊婦または出生届を提出した保護者に子育てに役立つ品物（15,000円相当）が選べるギフトカタログを贈呈します。

◆ 出産・子育て応援給付金（こども家庭課）

出産・子育てにかかる経済的な負担を軽減するため、妊娠時及び出産後にそれぞれ5万円の応援給付金を支給します。

◆ 子育て応援券（こども政策課）

小学校入学を控えたお子さんをお持ちの保護者に、市内協賛店で入学に役立つ品物等を購入できるギフト券（30,000円相当）を贈呈します。



③小・中学校給食費の無償化について (学務課・第一学校給食共同調理場)

市独自の保護者負担軽減策により、令和6年度も
市内小中学校の学校給食費の 無償化を継続 します！

1年間の保護者負担額（無償化前）

小学生一人あたり 24,860円（月額：2,260円）

中学生一人あたり 27,060円（月額：2,460円）

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や、物価高騰等に直面する保護者の経済的負担を軽減するため令和2年度から児童・生徒の給食費の無償化を実施しており、令和6年度も継続し実施します。

対象

市内の小中学校に在籍する児童・生徒の学校給食費

実施期間

令和6年4月から令和7年3月までの1年間

食育の取組

学校給食は、地域の伝統的な食文化や、食に関わる人々への感謝、食料の生産・流通・消費などを学ぶことができる「生きた教材」です。将来、児童生徒が健康で健全な食生活を営むことができるよう、地元産物を使った献立や行事メニューの提供、学級訪問、食に関する指導など、様々な取組を実施しています。

《まるごとかみすの日》



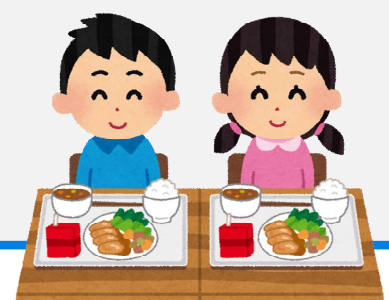
ごはん、牛乳
かみすメンチ(ソース)
キャベツとピーマンのサラダ
いわしのつみれじる

《たなばたメニュー》



ごはん、牛乳
ほしがたシーフードカツ(ソース)
チキンときゅうりのサラダ
たなばたスープ
たなばたゼリー

※ 給食で提供している「ごはん」は、地元の農業者と農業協同組合の協力により、化学肥料や農薬を大幅に減量した神栖市産特別栽培米を使用しています。



④まちのにぎわいづくり事業について (政策企画課・道路整備課・施設管理課)

息栖神社周辺整備

1 息栖神社周辺整備の目的

当市が誇る歴史ある息栖神社（東国三社）の魅力を向上させ、訪れていただいた方に神栖市の魅力を知っていただくことで、交流人口等の拡大による地域の活性化を図るため、息栖神社周辺整備を行います。

2 整備内容



①拠点施設整備（令和7年10月頃：オープン予定）

○神栖市のさらなる魅力を伝えるため、下記の機能をもった施設を建設します。

- ・市の魅力や観光地を案内する情報発信スペース
- ・市の特産品や農水産物を販売する物販スペース
- ・二階からの眺望を活かした飲食スペース
- ・常陸利根川の景色を見渡せるテラス

※上記以外にも訪れた方々が休憩するためのカフェ施設や
テイクアウトできる軽食を提供する出店スペースなどを整備



二階飲食スペースイメージ

②市道整備（令和7年度前半：工事完了予定）

○息栖神社前の市道を趣のある雰囲気とするための石畳風舗装整備を行います。

③船だまり整備（令和6年度：実施設計）

○船だまり周辺を周遊し楽しんでいただけるよう水辺を活かした景観整備を行います。

④拠点駐車場整備

○一部イベントスペースとしても活用できる駐車場の整備を行います。

⑤船着き場整備

○船による東国三社の遊覧ができるよう船着き場の整備について検討を進めます。

神之池緑地整備

1 神之池緑地整備の目的

息栖神社と並び、神栖市の名前の由来にもなっている神之池の魅力を向上させるため、市民の憩いの場となるよう緑地整備を行うことで、交流人口及び定住人口の拡大を図ります。

2 整備内容

①公園施設整備

- 令和5年5月に訪れた方々の休憩スペースとなるカフェ（スターバックスコーヒー）がオープンしました。
- 令和4年度に大型ネット遊具、令和5年度には幼児用遊具をカフェの隣接地に設置し、休日には親子連れなど多くの方々に訪れていただいています。



②緑地整備

桜を主とした樹木の再配置計画を策定し、令和6年5月24日には市民が神之池緑地内の樹木の維持管理に参加できる「神之池桜守隊」の発足式を行い、活動を開始していきます。今後も市民の皆様と連携しながら、神之池緑地の魅力向上に向け取組を進めます。



神之池緑地の桜



桜守ワークショップの様子

⑤コミュニティセンター管理運営事業について（市民協働課）

1 事業の目的

大野原・うずもコミュニティセンターは、地域のまちづくり活動の拠点や市民の生涯学習の場であるとともに、自主避難所に指定されており、災害時、自主避難を希望する方の問い合わせ状況により避難所を開設します。安全安心な避難所となるよう、大野原コミュニティセンターでは令和5年度から引き続き外壁等の改修を行い、うずもコミュニティセンターでは多目的ホールに冷暖房機能を備えた空調設備を設置することで、通常利用のほか自主避難所としての機能強化を図ります。

2 整備内容

①大野原コミュニティセンター外壁等改修工事

- 主な改修内容として、外壁の爆裂やひび割れ等を補修し、新たに塗装し直します。また、劣化がみられる屋上防水及び屋上のトップライトを全面改修することで、避難所となる建築物の耐久性の維持を図ります。



②うずもコミュニティセンター多目的ホール空調設備改修工事

- 現在設置されている暖房機器を冷房機能も備えた空調設備に改修します。避難者の滞在を想定し、風や音の影響を抑えた空調設備の設置を予定しています。
- 多目的ホールの競技場床面積は457.6m²であり、避難者の収容人数は228名を想定しています。



3 スケジュール（予定）

①大野原コミュニティセンター外壁等改修工事

令和5年	10月	工事着工 ※通常開館（一部利用制限あり）
令和6年	7月	工事完成
	8月	通常開館



②うずもコミュニティセンター多目的ホール空調設備改修工事

令和6年	5月	準備工事（空調設備製造）
	7月	工事着工 ※通常開館（一部利用制限あり）
	10月	工事完成
	11月	通常開館



⑥北公共埠頭雨水幹線整備事業について (下水道課)

事業経緯

神栖市の中心市街地である神栖1～3丁目や平泉東・木崎・深芝地区などに集中豪雨時や長雨時に多々発生していた冠水による被害を軽減するため、平成25年度より冠水発生が特に多い上流部より整備を開始した北公共埠頭第1排水区第1分区102.4ヘクタールを排水区とする北公共埠頭1号雨水幹線について、平成29年度に完成した一部区間に雨水を取り込み、貯留管として暫定使用を開始した結果、防災アリーナや神栖警察署周辺での冠水被害の大幅な軽減が確認できています。

また、令和6年度には全線での供用開始を予定し、集めた雨水を直接鹿島港北公共埠頭へ排水ができることから、更に冠水被害の軽減が期待できます。

スケジュール

平成25年度
上流部より着手

平成29年度
暫定使用開始

令和6年度
全線供用開始予定

北公共埠頭雨水幹線整備事業計画（案）

